



えがお いっぱい

令和8年1月26日
富士市立富士南小学校
学校だより 2月号

小中一貫教育目標 「やさしく いきる」
重 点 目 標 「やってみよう！」

2月・3月の生活目標 「ありがとうを伝えよう」

1月が「行き」、2月に入ります。2月には、いくつかの別の呼び名があります。その一つが、「如月（きさらぎ）」です。この時期はまだ寒さが残っていて、衣を更に重ね着することから「衣更着（きぬさらぎ）」という言葉が由来という説があります。他には、「草木張月（くさきはりづき）」です。旧暦の2月は、新暦の2月下旬から4月上旬ごろにあたりますので、草木や花の芽が出始め、春の訪れを感じることのできる季節ということから、そう呼ばれていたようです。春到来間近を感じさせる素敵な呼び名だと感じます。

春到来と言えば、2月3日（火）が「節分」で、4日（木）が「立春」になります。豆まきの「鬼は外、福は内」の言葉には、自分の中に潜んでいる「鬼（嫌な気持ちや悪い習慣）」を外に出て、「福（頑張る心や思いやりの心）」を自分の中に取り入れようという願いも込められています。暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続きます。そんな寒さに負けず、子供たち一人一人が、小さな「福」を積み重ねながら生活し、次の学年への準備を進める2月にしたいと思います。御家庭でも、見守りと声掛けをお願いいたします。



◇ 学校給食週間 1月24日（土）～1月30日（金） ◇

学校給食は、明治22年に山形県鶴岡町で始まり、各地に広がっていきましたが、戦争によって中断されました。戦後、食糧難による子供たちの栄養状態の悪化を背景に学校給食の再開を求める国民の声が高まり、昭和22年1月から学校給食が再開されました。そして、昭和25年度から、学校給食による教育効果を促進する観点から、冬季休業と重ならない1月24日から1月30日までの1週間を「学校給食週間」としました。学校給食は、食事を提供するだけではなく、子供たちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるために重要な役割を果たしています。「学校給食週間」においては、学校給食の意義や役割について、理解を深めることをねらいとしています。

本校では、先日、給食委員会が計画した「給食記念集会」をチームスで行いました。まず、給食クイズが出されました。「富士南小学校では、一日に何人分の給食を作っているでしょうか？」「何人の調理員さんで作っているでしょうか？」（A：1000人分、8人）等。そして、日頃からおいしい給食をつくってくださっている給食調理員の方々に、南レターをプレゼントして感謝の気持ちを伝えました。小林恭子栄養教諭からは、「給食は楽しいですか？」という問い合わせから、「食べることを好きになってほしい。」「好きな物だけではなく、苦手な物も楽しみながら食べることにチャレンジしてほしい。」という呼び掛けがありました。子供たちの給食への興味や関心を高める機会になりました。



◇スクール・サポート・スタッフ募集◇

富士市では、スクール・サポート・スタッフを会計年度任用職員（時給制）として随時募集しています。業務内容は、教員の事務負担軽減のために、授業準備、資料作成、データ入力、教材作成補助、学校環境整備等になります。任用を希望される方がありましたら、詳細について説明いたしますので、学校（教頭 63-7025）まで御連絡ください。